

第2回 横浜市戸塚柏桜荘指定管理者選定委員会議事録	
日 時	平成27年8月20日（木）13時30分～15時
開催場所	戸塚区役所8階 中会議室2
出席者	吉田委員長、有賀委員、岩崎委員、岩船委員、堀江委員 区）地域振興課長 高嶋 区民利用施設担当係長 加藤、栗原、古尾谷
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者0人） 審議については、非公開
議題	1 定足数確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 3 審議
決定事項	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立 2 横浜市戸塚柏桜荘指定管理者の候補者について 最低評価基準の7割以上を超えたことを確認し、「社会福祉法人 朋光会」を指定管理候補者として区長に報告をする。
質疑応答	社会福祉法人 朋光会によるプレゼンテーション10分を実施 【質疑応答】 委員) デイサービスセンターと老人福祉センターの長は兼務か。 団体) 今年4月からそれぞれ専任でいる。 委員) 老朽化の対応はどのようにしているか。 団体) 職員が日々確認して簡易なものは修繕をしている。対応できないものは区と相談をしている。 委員) 現在困っていることや課題はあるか。 団体) 空調が故障し、冷風がでないことがあった。また、エレベーターの耐久年数は20～25年と言われるが、今年で25年経つ。部品の提供が難しくなっている。 委員) 利用者からの持込企画などはあるか。ある場合の応援体制は。 団体) 利用者からの意見を聞いており、要望の多いものからできるだけ実施する考えでいる。利用者の声は直接聞いたり、アンケートで把握をしている。 委員) 60歳代や定年を迎えた方にどのようにPRしているか。 団体) 60～64歳代の利用が少ない。名称の「老人福祉センター」がネック。愛称募集をするなどを提案したいとも考えている。 また、60歳以下の方にも親しんでもらえるように周知をすべきと考えている。今年から近隣の方と花壇づくりをし、今まで来なかつた方にも足を運んでもらえるようになった。 委員) 花植えや草取りなどを通じて子どもと高齢者の交流をもう少し実施してほしい。送迎バスを活用できないのか。

	<p>団体) ドライバーの人員の確保などの課題はあるが、今後の検討課題としたい。</p> <p>委員) デイサービスが無かったら、今回の予算とどう違いがあるか。</p> <p>団体) デイサービス収益は老人福祉センター収益と分けているので変わらない。</p> <p>委員) 職員の配置は。</p> <p>団体) デイサービス長、老人福祉センター長の他、コミュニティスタッフの中で役割分担。週4~5日法人の中で責任ある人を配置している。</p> <p>委員) 職員、スタッフの男女比は。</p> <p>団体) 常勤1人、非常勤17人のうち、女性16人。</p> <p>委員) コンプライアンス、ハラスメント対策、内部通報の仕組みについて。</p> <p>団体) 法人事務局内で対応。その他毎年職員の意識調査や人権研修を実施。</p> <p>委員) 利用者の中にも、運営をやってみたい人もいると思う。持ち込み講座等自体を自主運営とすることを認める雰囲気があると良い。</p> <p>団体) プランターと土で畑を作っている。利用者が趣味も兼ねて実施している。今後もやってみたいと考えている。</p> <p>委員) 日曜日の利用者が少ないことがもったいない。地域の力を借りて、他世代交流イベントを実施するなどしてもよいのではないか。</p> <p>団体) 平日に比べ、日曜日の大広間の利用者数の方が増加する区もあるので、意見交換しながら工夫をしたい。</p>
特記事項	